

# 支援だより



令和6年度 第2号  
発行者：越前市  
地域包括支援センター

「アポ電」にご注意！！

～自宅の固定電話の防犯対策をしましょう～

公共機関や実在する企業名、家族などをかたり、相手を信用させて家族構成や資産状況などを聞きだしたり、所在確認をしようとする、いわゆる「アポ電」。(アポイント電話)

「アポ電」と思われる不審な電話は、振り込め詐欺や還付金詐欺のきっかけとなるだけでなく、強盗事件にも関わる可能性があると言われています。不審な電話があれば警察などにご相談ください。

～事例～ 市役所を名乗る者から電話があり、  
「還付金がある。手続きが必要なので  
取引銀行と口座番号を  
知らせて欲しい。」



## 相談機関

警察相談専用電話  
「#9110」  
消費者ホットライン  
「188」

どうやって気をつければいいのか？

- ・自動録音機等の防犯機能付き電話機の設置
- ・在宅中でも留守番電話にしておく
- ・番号通知機能の活用などの固定電話対策をして、  
知らない電話に出ないようにしましょう。

あなたのまちの  
地域包括支援センターをご利用ください

高齢者の相談窓口として、高齢者ご本人や家族からのさまざまな悩み事や介護に関する相談、福祉サービスについて、電話、来所、訪問にて応じます。

相談は無料、秘密は厳守します。

| 名 称 ( 所在場所 )                           | 担当地区                     | 電話番号(24 時間対応) |
|----------------------------------------|--------------------------|---------------|
| 越前市社会福祉協議会 地域包括支援センター<br>( 矢船町8-12-1 ) | 北新庄地区・北日野地区<br>味真野地区     | 22-6111       |
| しくら 地域包括支援センター<br>( 妙法寺町413 )          | 南地区・坂口地区<br>王子保地区        | 29-1188       |
| あいの樹 地域包括支援センター<br>( 中央2丁目9-40 )       | 西地区・神山地区<br>白山地区         | 42-5725       |
| 地域包括支援センター いまだて<br>( 杉尾町1-24-1 )       | 粟田部地区・岡本地区<br>南中山地区・服間地区 | 43-1888       |
| 地域包括支援センター 和上苑<br>( 瓜生町33-12-2 )       | 東地区・国高地区                 | 23-5255       |
| 地域包括支援センター 丹南きらめき<br>( 家久町49 )         | 吉野地区・大虫地区                | 22-7776       |

# 認知症について考えてみませんか？ その2（全6回）

認知症になったら何もわからなくなる、ふつうの生活を送れなくなる…そんなふうに思っていないですか？

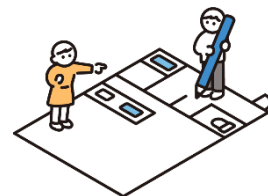
認知症は決して高齢の方だけがかかるものではなく、他人事でもありません。

自分、家族、友人…誰にとっても身近なものになっています。

だからこそ、ただ怖がるのではなく、正しく知って&考えてみませんか？



## 暮らしやすい地域づくりって？



車いすの人が暮らしやすい地域って？と聞かれたら、何を思い浮かべますか？

段差がない、急な坂がない、専用のトイレが多い…？

それが本当に暮らしやすい地域なのか知っているのは、車いすに乗って、そこで暮らす人です。

では、認知症がある人にとって暮らしやすい地域とは、どんな地域でしょうか？

みんなが優しい、困っていたら助けてくれる、表示が見やすくてわかりやすい…？

それが本当に暮らしやすい地域なのか分かるのは、やはりそこに暮らす当事者なのです。

暮らしやすい地域をつくるには、想像力と同時に、当事者の意見が欠かせません。

認知症は、他人事ではありません。自分が、家族が、認知症と診断されたとき、周りの人にどう接して欲しいですか？どういう暮らしがしたいですか？

認知症があっても暮らしやすい地域は、未来のあなたが、未来のあなたの家族が、暮らしやすい地域かもしれないのです。



## 「認知症とともに生きる希望宣言」



1. 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
2. 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
3. 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
4. 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。
5. 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを、一緒につくっていきます。

「認知症とともに生きる希望宣言」は、2018年11月1日に発表されました。

この宣言は、認知症の当事者が、体験と思いを言葉にし、それらを寄せ合い、重ね合わせる中で生まれたものです。

「ひと足先に認知症になった私たちからすべての人たちへ」の言葉が添えられた、この宣言。ひと足後ろに立っているかもしれない私たちには、いったい何ができるでしょうか。

お問い合わせは…

地域包括支援センター丹南きらめき 0778-22-7776 まで